

令和4年度 第2回 諏訪区地域協議会 次 第

日時：令和4年7月14日(木) 午後7時から
会場：諏訪地区公民館 集会室

延べ1時間15分

1 開 会

【5分】

2 議 題

(1) 自主的審議事項

○ 二貫寺の森の活用について

1) 前回会議の振り返り

【15分】

2) 自主的審議の方向について

【50分】

(2) その他

3 その他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 … 令和4年__月__日 () 午後 時から
- 会場 … 諏訪地区公民館 集会室
- 内容 … 自主的審議について

(2) その他

4 閉 会

(検討資料) 二貫寺の森の活用に係る前回会議の振り返り

1 地域協議会が考える”目指す状態”

- 二貫寺の森が、いろいろな人に認知されている状態
- 二貫寺の森に、地域外の人も含めたたくさんの方が訪れる状態
- 二貫寺の森で、いつでも人が(遊んで)いる状態

2 (5月19日開催)意見交換会における関係団体の意見(主なもの)

【利用促進-周知】

- ・ 自然観察会に参加できない子どものために、小・中学校の図書室に二貫寺の森の資料(冊子等)を置き、興味を持ってもらってはどうか。
- ・ ギガスクール構想により子どもたちはiPadを持っており、自分で情報を得ることができるため、行ってみたいと思えるようなWebサイトを作ればよいのではないか。
- ・ 認知されるようにするため、入り口の場所を示す大きな看板や、施設のこと(自然環境保全地域であること)が分かるような看板を設置してはどうか。

【利用促進-環境整備】

- ・ 草だらけでは誰も森に入らない。開放期間中は、いつでも森に入れるよう園路が整備(草刈り)されているとよい。
- ・ マナーを守ってキャンプをしたり、自然の中で活動できるような環境(設備や遊具)が確保できれば、子どもや保護者、地域の人にも活用してもらえと思う。
- ・ 貴重な植物や自然を保全しながら利用してもらうには、保護すべきエリアと開発してもよいエリアを分けしながら取り組めばよいのではないかと。(二貫寺の森のセールスポイントが必要)
- ・ 一番気になったのは、森が藪化していることである。藪になっては子どもを安心して遊ばせることはできない。
- ・ あまり人が来ないところに、大きな投資はできないと思う。

【利用促進-その他】

- ・ 小・中学校で二貫寺の森に活動に来る際のバス代等を支援する仕組みがあれば、学校の利用が増えるのではないかと。

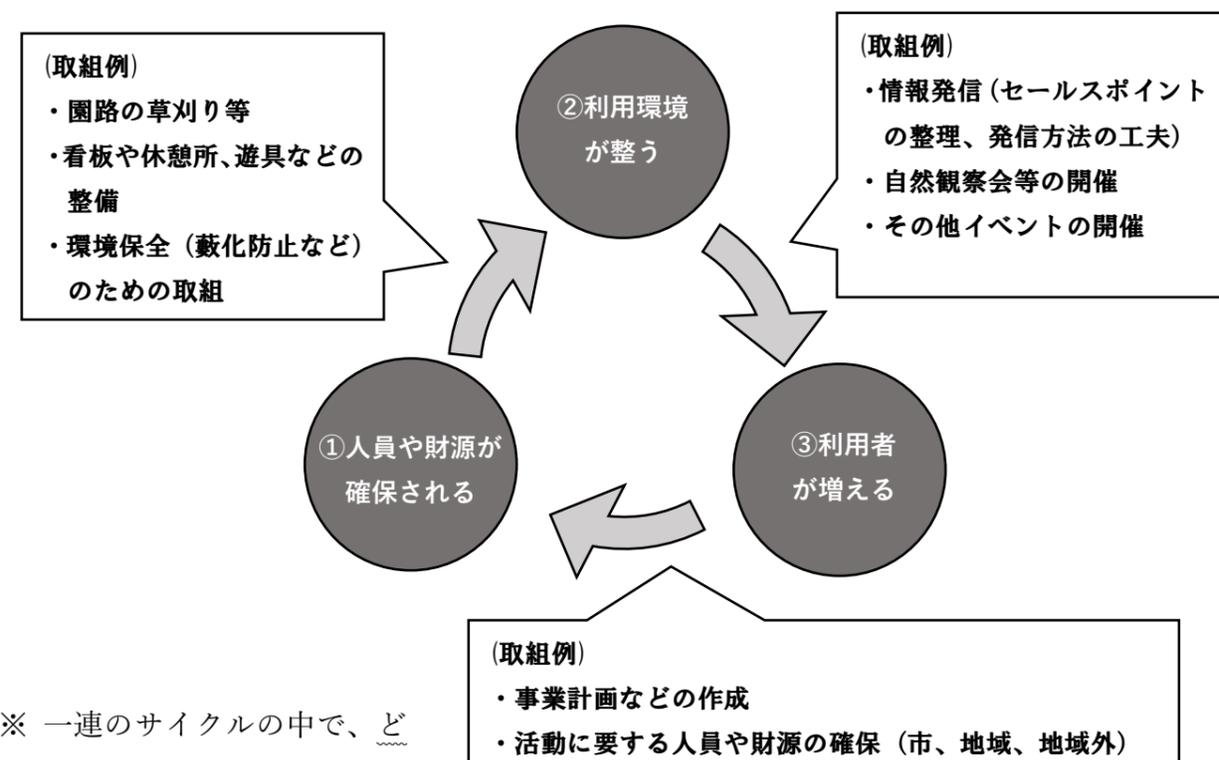
【環境保全】

- ・ 森の単純化・藪化が進んできており、貴重な植物や野鳥にとって適さない環境になってきていると思う。手を入れ、活用しながら維持することが理想ではないかと。

■ 自主的審議の方向(前回会議で出た意見)

- (課題) 施設の整備
 - ・ 看板の整備(可能であれば看板周辺の整備) ⇒ 森の認知向上/利用者への情報発信
 - ・ 管理棟-広場間の園路のぬかるみ対策
 - ・ 保護するエリア、手を加えてよいエリアを区分し、自然保護と利用促進を両立
- (課題) 実施主体の確保
 - ・ 住民の賛同が得られるか。 ⇒ 協力してほしいことを具体化して地域と話し合う。
 - ・ 実施団体の設置 (新設または既存団体を位置付け)
 - (具体的に)
 - ・ 二貫寺の森をどうしたいか。
 - ・ そのために何に協力してほしいか。
- 情報収集、視察・研修等
 - ・ 二貫寺の森に係る予算 … 維持管理を徹底して行った場合に要する経費は?
 - ・ 他の森林施設の管理経費や人員等把握
 - ・ 他の森林施設(大池いこいの森 等)の現地確認

(イメージ) 施設運営の改善サイクル



※ 一連のサイクルの中で、どこから手を付けられるか?

※ 利用者が増加しない状況では、市の予算増額は難しい。 ⇒ 予算増加を抑えながら利用者を増やす取組を考える必要がある。

(検討資料) 前回会議の意見と自主的審議のまとめ方 (案)

審議事項		審議Ⅰ 施設の整備				審議Ⅱ 管理	審議Ⅲ 運営
		プラン A) 看板の整備	プラン B) 看板周辺の整備	プラン C) 管理棟－広場間の 園路のぬかるみ対策	プラン D) 保護エリアと開 発してもよいエ リアの設定		
審議のまとめ方						人材	企画 ・ 資金
パターン(1) 地域団体への提案		(事務局の見通し) ○	△	×	×	活動団体の選定	活性化のための企画
パターン(2) 元気事業 (企画・提案) (団体と連携)	①地域	－	△ ①-1 事業企画 ①-2 作業人材	△ ①-1 事業企画 ①-2 作業人材	△ ①-1 事業企画 ①-2 事業受託		
	(実現性検討) (予算要求)	②市	－	△ ②-1 予算要求 (草刈り) (チップ敷設)	△ ②-1 予算要求 (碎石敷設) (木道敷設)		
パターン(3) 意見書の提出		－	○	○	○ 提案内容の 具体化が必要		

※ 上記はまとめ方の例であり、実際の内容は関係者との協議により変わります。

他の森林施設について

区分	名称	管理方法	施設の概要	R4 予算額	摘要	市担当課
市民の森	くわどり市民の森	指定管理 (特定非営利活動 法人かみえちご山 里ファン倶楽部)	所在地 大字西谷内 設 置 平成14年度 施 設 管理棟、分区林、遊歩道ほか 面 積 272.0ha	15,626 千円	利用者数 R1 5,219 人 R2 4,160 人 R3 5,557 人	農林水産整備課
市民の森	二貫寺の森	直営 (業務委託)	所在地 大字杉野袋 設 置 平成23年度 施 設 管理棟、遊歩道ほか 面 積 28.0ha	1,901 千円	利用者数 R1 1,024 人 R2 534 人	農林水産整備課
市民の森	あさひの里田麦ぶ なの森園	直営 (業務委託)	所在地 大島区田麦 設 置 平成5年度 施 設 管理棟、トイレ、遊歩道ほか 面 積 90.0ha	2,835 千円	利用者数 R1 397 人 R2 75 人	農林水産整備課
観光施設	大池いこいの森	直営 (業務委託)	所在地 頸城区日根津 設 置 昭和 52 年度 施 設 ビジターセンター、キャンプ 場、遊歩道、駐車場、公衆ト イレほか	8,848 千円	—	施設経営管理室 (頸城区総合事務 所)

※ 「くわどり市民の森」「二貫寺の森」は市の自然環境保全地域に指定されている。